

医療関係者・介護職の方々 一緒に話してみませんか？

秋山峰男と中島茂雄のお話し会

「病院について考えてみよう」

僕(中島茂雄)は数年前まで病院で精神科医として働いてきました。

そしてその頃、医師という仕事は忍耐だと思っていました。

毎日毎日患者さんの苦しみ悲しさ辛さを受け取り、何とかしようともがくけど、自分はあまりに無力で、時には患者さんの不幸な死を

目のあたりにして同僚のスタッフが疲弊して辞めていく。

そういう中でも耐えてそこに居続ける事が、この仕事なのだと

言い聞かせてきました。

でも最近思うのです。もしかしたらそれは自分の思い込みで、

もう少し楽しくやれるのではないかと。

秋山峰男さんは点描画の画家で、全く医療関係者ではありません。

全く縛られない自由な心の方で、そういう方と話すうちに何か

見つけられるかもしれません。

日時：H29. 3月12日(日) 10～12時

対象：医療・介護に従事している方

場所：あさか心のクリニック

定員：14名 参加費：3000円

参加ご希望の方は受付まで。048-458-5561

【秋山峰男】

1943年8月16日、山梨県韮崎市生まれ。幼少の頃から絵に親しみ、暇さえあれば筆をとっていた。30歳で家具・インテリアの会社を設立し社長をしていたが、1998年ふとしたきっかけからヒーリングアートを描き出す。そして2001年56歳で会社を精算し、全財産を家族に残し、精算にて生じた負債を背負いヒーリングアートを描く旅に出ることにした。

現在、年間300日乞われるままに海外を含め日本各地に赴きヒーリングアートを描き続ける旅を続けている。

秋山さんの点描画は黒い紙にボールペンで、インスピレーションのままに1つ1つ点を打つことで描かれる。その絵は自我という制限から解放され、宇宙へと広がり、人々の心に届き共鳴してアート活動と成っている。



【中島茂雄】

1965年2月7日、福岡県福岡市生まれ。

あまりに虚弱で敏感だった為、両親は医師になることも、精神科医になることも大反対でしたが、押し切って平成元年から医師となる。案の定、苦勞するが何とかサバイバルし、2012年あさか心のクリニックを開院。病気を治すことも大事だが、その人が本来の生き方をすることを手伝うことが精神科の医療ではないかと感じている。